

実施要項

●旅行期間 2010年3月14日(日)～3月21日(日) 8日間

●旅行経費 ￥ 383,000.-

●最少催行人員

15名様以上

●旅行費用に含まれるもの

- ① 交通費：航空運賃（エコノミー）日程記載の各交通機関
- ② スタンダードクラス宿泊ホテル料金（1室2名様バス又はシャワー付き）
- ③ 食事：全朝食代（税・チップ等サービス料を含む）
- ④ 団体行動中の各種チップ等
- ⑤ 空港、ホテル、バス等での手荷物運搬料金（原則としてお一人様旅行用鞆1個20kgまで）
- ⑥ 学校訪問費用
- ⑦ 通訳費用

●旅行費用に含まれないもの

- ① 日程に記載されてない昼食・夕食費用
- ② 通信費、手荷物超過料金等、個人的な費用
- ③ 旅行取扱手数料(¥8,400)
- ④ 成田空港使用料及び旅客保安サービス料(¥2,540)
- ⑤ 任意の旅行傷害保険
- ⑥ 燃油特別付加運賃 ※この料金は出発前にご案内致します。
- ⑦ シングルルーム追加費用(¥43,000)
- ⑧ 個人に属する旅券印紙代及びこれに伴う諸費用

●パスポートについて

パスポートは有効残存期間が6ヶ月以上必要です。有効なパスポートをお持ちでない方は各都道府県の旅券窓口にて申請をお願い致します。

●渡航手続き

有効旅券を所持していない方は、下記の書類をご用意の上、現住所にある各都道府県の旅券センターにて申請を行って下さい。取得しましたら、旅券申請用とは別に写真1枚と旅券のコピーをベストワールド(株)にお送り下さい。取得までには約1週間から10日間かかります。

1. 戸籍抄本 1通（最近6ヶ月以内のもの）
2. 写真 1枚（縦4.5cm×横3.5cm）

●旅行申し込み方法

- ① 添付の旅行申込書に必要事項をご記入の上、郵送又はFAXにてベストワールド(株)にお願いします。
- ② 申し込みと同時に申込金(¥50,000.-)をお支払い願います。（申込金は旅行総経費の内金となります。）

●残金の支払い 2月12日(金)までをお願い致します。

●申込締切 2010年 2月 10日(水)

●振込先

銀行名：三菱東京UFJ銀行 神田支店
名義：ベストワールド株式会社
口座：当座預金0451765

●キャンセルについて

旅行参加申し込み後、お客様のご都合で旅行を取り止める場合は下記の取り消し料がかかります。
* 30日前～3日前までの場合 費用の20%
* 2日前～出発前日までの場合 費用の50%
* 当日及び、出発後の取消の場合 費用の100%
※参加と同時に航空機、ホテル等に予約金が必要とされた場合、前払いする関係上キャンセルの場合実費を頂きます。

●おことわり

旅行費用は平成21年11月現在の特別航空運賃を基準にしております。出発前に大幅な為替変動などがあった場合には、旅行費用が変更となる場合がありますのであらかじめご諒承をお願い致します。

●規約事項

旅行中災害事象、火災、政府及び公共団体の命令、政変、ストライキ、戦争、暴動、流行病、隔離、税関規則等不可抗力の事由により生じた損害、盗難、詐欺、暴行、傷害等会社及び旅行会社の責任外の事故による損害または参加者が諸法令、或いは公序良俗に反する行為のための生じた損害については責任を負うことは出来ません。なお航空機、鉄道船舶などの運輸機関の運賃変更、スケジュールの変更が合った場合、その他止むを得ざる事情があった場合などは、経費・日程を変更する場合があります。その他の規約事項は弊社旅行業約款によります。個人情報保護法にもとづき、申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲以内で利用させていただきます。また、当社の提携する企業の商品やサービスのご案内、旅行参加後のご案内や感想の提供のお願い、アンケートのお願い、海外旅行のご案内等にお客様の個人情報をご利用させていただくことがあります。
総合旅行業務取扱管理者 浦尾 雄児

◆お問い合わせ◆

株式会社 教育家庭新聞社
〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL: 03-3864-8241 FAX: 03-3864-8245

お申込み

ベストワールド株式会社
〒101-0047 東京都千代田区内神田1-7-4
TEL: 03-3295-4111 FAX: 03-3295-4118
<http://www.bstworld.co.jp/bw/>

キリトリ線

『フィンランドの教員養成6年制を学ぶ旅』参加申込書

フリガナ											生年	19	年	月	日生	性別	男女		
氏名											月日	(昭和)	年						
ローマ字名																			
現住所	〒										電話：() FAX：() 携帯：()								
会社名											電話：() FAX：()								
会社住所	〒										E-mail:								
緊急時の連絡先	名前										電話：() FAX：()								
										(続柄：)									
										〒									
*パスポートをお持ちの方は										発行年月日： 年 月 日									
パスポート番号：																			
同室希望者	さん	シングルルーム(有料)を希望する【 】 希望しない【 】																	
		ビジネスクラス(有料)を希望する【 】 希望しない【 】																	

フィンランドの教員養成6年制を学ぶ旅

2010年3月14日(日)～3月21日(日) <8日間>

コーディネーター：早稲田大学大学院 教職研究科教授

田中 博之 先生

現地コーディネーター：フィンランドメソッドの第一人者

メルヴィ・ヴァレ 先生



企画：株式会社 教育家庭新聞社

旅行実施：ベストワールド株式会社

観光庁長官登録旅行業第145号/日本旅行業協会正会員

国際航空運送協会(IATA)公認代理店

フィンランドの教員養成視察のねらい

民主党政権が打ち出した新しい教員養成のあり方として、大学院修士課程の修了を教員免許状の取得条件とする計画、つまり、教員養成課程6年制への移行が明らかになりました。また、教育実習も現行の2～4週間程度のものを1年間に延長するようです。

そこでこの旅では、これからの教員養成の最前線を学ぶ実地調査を、6年制の先進国であるフィンランドで行います。PISA 型読解力世界一の実績は、この教員養成6年制の導入が大きな成功要因といわれています。(地域によっては5年制もあります)

その実態を探るために、この調査旅行では、6年制の導入理由、大学院での教員養成及び学校での長期実習のあり方について、教育省、地方教育委員会、小・中・高校、教員養成系大学を訪問して具体的・実践的に学びます。

特に、全国の教職大学院及び大学院教育学研究科等の関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

この研修にはコーディネーターとして早稲田大学大学院教育学研究科教授 田中博之 先生が同行されます。

OECD国際学習到達度 世界一のフィンランド

世界で最も進んだ教育先進国といえばフィンランドです。

経済協力開発機構(OECD)による2006年の国際的な学習到達度調査で、科学は1位、読解力は2位、数学は2位の結果が公表されました。これに比べ、わが国の結果は4年前の調査より科学的リテラシー(応用力2位 6位)と数学的リテラシー(6位 10位)の分野で順位を四つ、読解力でも一つ順位を下げています。(14位 15位)。全般的に見て成績の低落傾向は止まっていない。フィンランドなど成績の上位の国と比べて、理解度が低く、学習に対する意欲や関心は最低レベルと言っても過言ではありません。なぜ、フィンランドの子供は“学力世界一”なのでしょう。フィンランドの人々は「勉強は大切」「国の存続に教育は最も重要」と口々に言います。

又、小学校・中学校・高等学校の教師は大学院修士課程を修了していることが条件となっています。フィンランドの先生の意欲的で高いレベルの労働倫理がフィンランドの学校のレベルの高さの秘訣だと言われています。

人口は530万人で東京の半分以下で天然資源も少ない。600年にわたりスウェーデン、ロシアに支配されたため、民族の結束を保つために教育は重要なよりどころになったといわれています。

フィンランドの小中一貫教育

フィンランドは7歳から15歳までの9年間は義務教育で、小中一貫の9年制と小中が分かれた古い6・3制が混在している。最初の6年間はクラス担任が教える。科目は母国語、第2国語(フィンランド語かスウェーデン語)、外国語(英語がほとんど)、数学、環境、生物、地理、物理、化学、健康教育、宗教/倫理、歴史・社会、音楽、芸術、技術、体育、家庭科、カウンセリング、選択科目である。先生に聞かないで自ら調べる。自分で学習課題を設定するといったことが大切にされ、教科書(貸与制)は教師個人が決め、学習評価の方法は自治体に任されている。

フィンランドの教師

フィンランドの総合学校の教師は修士号の取得が義務づけられている。教師の資格には学級担任教師と教科担当教師の2種類があり、学級担任教師には教育学の学位が、教科担任教師には各部門科目の学位の取得が求められている。フィンランドの教師にはマスターの学位が教師免除の基礎資格になっていること、教師は優れた成績の学生達がなりたがる職種の一つであることなど、フィンランドの教育水準の高さを保証している。



フィンランド行程図



日	付	曜	発着地	時刻	交通機関	摘要	食
2010年	3月14日	日	東京(成田)発 ヘルシンキ着	午前 午後	航空機	成田空港発、空路欧州都市経由ヘルシンキへ 着後、ホテルへ (ヘルシンキ泊)	機
3月15日	月					ヘルシンキ大学教育学部訪問 <午前> ○学長・学部長等担当者からレクチャーと質疑応答 ・フィンランドの教員養成について ・ヘルシンキ大学の教員養成の特徴について ・学士、修士1年から5年まで一貫した教員養成カリキュラムの実際 ・クラス担当教員(主に小学校)の養成と教科担当教員(主に中学・高校)の養成方法 ・1年から5年まで一貫した教育実習訓練 ・スーパーバイザーの養成とメンター制度 ・研究に基礎をおく教員養成(時代のニーズに対応し指導方法を継続的に改善) <午後> 教職科目の講義・授業視察 視察後、担当者・学生などにインタビュー (ヘルシンキ泊)	朝
3月16日	火					ヘルシンキ大学教育学部附属小学校訪問 <午前> 附属小学校での教育実習を視察 <午後> 教員養成の指導教官、学生にインタビュー 文部科学省教育局 ・教員養成6年制導入の背景と意義 ・6年制への移行に国の行政が果たした役割 ・6年制実施の成果と課題 ・6年制と教員の資質向上の関わり ・PISA 調査世界一の結果に及ぼした効果 (ヘルシンキ泊)	朝
3月17日	水					ビヒティ市教育委員会訪問 教員の採用方法 教員実習の内容と受け入れ方法 教員研修について ビヒティ高等学校 or 中学校訪問 メンター(教育実習の指導者)制度について 教育実習の受け入れ、教育実習の年間実施計画について 中学校、高校教育について (ヘルシンキ泊)	朝
3月18日	木		ヘルシンキ ユバスキュラ			<午前> 専用バスでユバスキュラへ(260Km) ユバスキュラ大学(仮)訪問 <午後> ユバスキュラ大学における教員養成 (ユバスキュラ泊)	朝
3月19日	金		ユバスキュラ ヘルシンキ ヘルシンキ発 フランクフルト着			<午前> 教職科目の講義・授業視察 <午後> 専用バスでヘルシンキへ 夕刻、空路フランクフルトへ (フランクフルト泊)	朝
3月20日	土		フランクフルト発	午後	航空機	空路、帰国の途へ (機中泊)	朝
3月21日	日		東京(成田)着	午前		成田空港到着後、解散	機

この日程は平成21年11月に作成されました。航空機、訪問先等の日程は変更になる場合がございます。

